

令和8年度予算を 慎重審議

3月議会は令和8年2月16日から3月19日まで開催し、主に令和8年度予算に関する審議が慎重に行われました。

審議のうち、3月16日の一般会計予算に対する総括質疑の一部をご紹介します。

重点施策・課題

質問 限られた財源の中で、令和8年度の重点的施策は。

回答 民生費は、補正予算対応ではなく当初予算ですべて計上した。中学校2校の空調設備は2カ年計画だが、最優先に取り組み。

質問 財政運営上の課題は。

回答 地方債の償還額より起債の発行額を抑えていくこと、また建物の更新も考える時期のため、将来のハード事業に向け財政の柔軟性を確保することが課題。少額でも節約意識を持って取り組んでいく。

質問 財源確保にはふるさと納税の強化が必要ではないか。

回答 引き続き努力する。

マイナンバー

質問 マイナンバーカードの利用は広がっているか。

また、デジタル格差を是正する取り組みは。

回答 物価高騰給付金に関してはマイナンバーカードの公

金受取口座連携の仕組みも活用したが、今後もこの仕組みを活用していきたい。

令和8年度はDX推進計画の策定も予定しているため、庁内だけでなく町民の利便性向上も併せて検討していく。

消防団員確保

質問 団員確保のための報酬額を引き上げてはどうか。

回答 現在、団員の定数412名のうち303名が所属（機能別団員を含む）。全国的な動きがあり、本町も令和4年度に年間報酬と出勤報酬をそれぞれ見直し引き上げた。消防団員確保に向けては、やりがいなどを発信しつつ検討していく。



訓練を行う町の消防団員

防災・減災

質問 大堤の田んぼダム化が令和8年度に整備されることに伴う目標値の設定は。

また、田んぼダムの仕組みや目的の周知を図りたい。

回答 対象地区での会合を開くなど音頭をとって進めたい。令和7年度の秋まつりではPR活動も行ったが、今後も広く周知に努めたい。



大堤（和味地区）の田んぼダム

質問 立地適正化計画における防災指針の中に、民間連携のあり方を明記する考えは。

回答 他の個別計画との整合性を図り、作成を進める。緊急性のある夜間などでの垂直避難に協力いただける企業があれば、積極的に声をかけをし、協定を結んでいきたい。

住宅施策

質問 町営住宅を、子育て世帯向け住宅や定住促進住宅として運用する考えは。

回答 本町の場合、空き部屋のあるアパート数が多いことや新たな宅地造成もしていることから、子育て支援や定住促進を目的とした住宅については今後検討したい。

公園整備

質問 公園の長寿命化に関する計画の内容は。

回答 今回は都市公園「広宮沢公園」が対象で、施設維持を目的とする。現在、利用件数に伸び悩み、時代とともに需要の変化が見られる。近隣市町ではパークPFIの手法で都市公園の再活性化を図っている事例もあり、色々な可能性を探る。

特産品開発

質問 特産品開発をはじめとする町の施策課題を、地元大学などでの研究に活かしては。

回答 特産品開発を含め、そのアプローチ方法もあると捉えている。連携の可能性について大学と協議してみたい。

西部地域活性化

質問 西部地域の観光施策と資源活用を面として捉え、持続的な事業を運営する考えは。

回答 西部地区活性化検討委員会で検討していく。

将来的に、いわて森林の感謝祭で植樹した桜の木が育ち開花すれば、春は桜、夏はひまわりの観光地になり、城内山のハイキングも併せ季節を感じられる場所になりたい。

質問 煙山ひまわりパークの舗装を計画しているが、ウッドチップでの整備には。

回答 アスファルト舗装・敷砂利・ウッドチップと、それぞれの場所に見合った適切な整備を実施する。



整備が進む煙山ひまわりパーク

コミュニティ

質問 コミュニティ支援員の活躍を大いに期待しているが、活動内容は。

回答 地域の現状把握、住民同士の話し合い促進、地域運営のサポートなどを担う。

現在は1名だが、将来的に2名体制を見据えている。

質問 コミュニティスクールを推進する中でコミュニティ支援員の活用策は。

回答 最終形として多分野を支援するような組織の立ち上げが目標にあるため、今後コミュニティ支援員も含めた体制づくりに取り組んで行くが、現段階では、コミュニティスクールの中にはコーディネー

ターという役割の方がいるため、そこを核とした活動が大事だと考えている。

健康

質問 健康寿命の延伸施策は数多く行われているが、これらを一本化すれば、評価や周知が容易になるのでは。

また、町民に向けて意識の醸成、周知はされているのか。

回答 すでに課内で担当間の連携はできているが、一本化も一つの手法と捉えて検討していきたい。また、本町の健康寿命が全国平均から見ても高いことを、工夫を凝らして周知していく。



教育

質問 令和8年度はスクール

カウンセラーが増員される。

子どもや保護者と教職員の繋ぎ役としても期待されるが、どのような運用方針か。

回答 現在も子どもたちとの面談や校内観察の中で教職員にフィードバックする役割を担い、校内会議へ出席し専門的観点からのアドバイスなども行っている。引き続き効果的に作用するよう、連携を密にして運用していきたい。

保育

質問 煙山保育園の病児保育を進めていくうえで、施設改善などの検討はしているか。

回答 病児保育施設の整備は検討を重ね、保育所併設型の病児保育室を整備する方針で、病児保育室が独立したかたちが理想。令和8年度は引き続き検討し、令和9年度以降に整備できればと考えている。

質問 現場で働く保育士の声を聞き、理解を得ているのか。

回答 通常保育のほか、民間では難しい医療的ケア児の受け入れや誰でも通園制度の導

入を図り、多機能化している点が公立保育園の強みと捉えている。公立保育園の職員とはヒアリングも実施しており、その中で「通常保育が基本にあり質を確保しながら他事業を展開すること」を求める声や「職員の採用計画を整えること」のニーズがあった。引き続き協議を進め、職員にとっても魅力的な施設になるよう努める。



文化財

質問 文化財の場所や内容などがすぐに判り、手に取れる冊子版やポストカード形式などの工夫で周知を図っては。

回答 令和8年度は文化財マップを作成予定。貴重な文化財の継承や保全に取り組む。